

宿泊利用団体の宿舎配室方針について

基本的な考え方

宿泊利用団体の規模や利用者数含、男女比等の配慮事項を鑑みつつ、できる限り団体の意向を考慮した配室を行うこととする、『なるべく多くの方が宿泊できるよう』無駄のない宿舎割り当てを行う。

1. 宿泊利用団体

- ①基本的に宿泊棟へ配室する（さくら、けやき、かえで、つつじ B 側、しらかば、からまつ）。
- ②宿泊棟は原則男女別棟とし、団体数等が多く割り振れない場合は、利用人数が少ない団体を男女同棟にする。その場合は、「しらかば」、「からまつ」を割り当てるようにする。
- ③複数団体が同棟になることは原則避ける。
- ④車椅子利用等の身体障害を有する者を含む団体には、「さくら」「けやき」を割り当てるよう配慮する。
- ⑤配室時は 1 部屋に際して、定員より 2～3 名程差し引いた人数で割り振る。ただし、全体の宿泊利用者が多い場合はこの限りではない。
- ⑥宿泊棟が満室等の状況により、宿泊棟への配室ができない場合は、「ユース和室」「セミナーハウス」「金時」「愛鷹」「和」を活用する。その際は、利用団体に事前に了解を得ることとする。
- ⑦各棟に割り振ったリーダー室で指導者が収まらない時や、やむを得ない事情がある場合は、ボランティア室（無料）を割り当てる。
- ⑧特別な事情がなく、個人的理由等で個室を希望している場合は、ボランティア室への配室ではなく、「あかまつ」「つつじ」の個室（有料）へ案内する。
- ⑨カメラマンや添乗員等の学校関係者以外が施設内に宿泊を希望する場合は、「あかまつ」や「つつじ」の個室（有料）を案内する。個室（有料）利用を断られる場合は、帯同している利用団体と同じ宿泊棟で対応いただくことを伝える。

2. 有料個室（あかまつ、つつじ A 側）利用団体

- ①基本的に一般団体（企業や外国人就業団体等）の利用を推奨する。ただし、大学のゼミ合宿等の大学生が利用を希望する場合等は、できる限り対応する。
- ②原則高校生以下の利用は認めない。ただし、感染症を疑う場合等で隔離場所として個室を使用する場合は、団体の付添者も隣室で待機するという条件で可能とする。この場合は、無料とする。
- ③「あかまつ」「つつじ」の個室は部屋毎に施錠もできるため、複数団体の利用があることを事前に伝え、理解していただく。
- ④鍵の貸出に関しては、玄関の鍵は団体に 1 つ、部屋の鍵は使用する部屋分を渡す。鍵の管理は団体をお願いする。
- ⑤個室の使用料は 1 泊 950 円とし、別途シーツ等洗濯料は 300 円とする。なお、当所の都合で、「あかまつ」「つつじ」を割り当てる場合は、使用料を無料とする。
- ⑥個室利用の場合も、宿泊棟利用時同様に部屋の点検を行う（8 時 45 分）。その際は、部屋にある清掃点検項目に従って実施する。
- ⑦個室利用の場合は、フリーWiFiを使用することができる。
- ⑧部屋を使用しない時間の節電にご協力いただく。

上記以外の事項に関しては、施設にて協議をして判断することとする。